

# あいち病害虫情報 最新情報

令和4年4月18日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## ムギ類の病気

ムギ類赤かび病は、開花期から乳熟期に降雨が多く、気温が比較的高い(20~27℃)と急激に感染が拡大します。名古屋地方気象台4月14日発表の1か月予報によると、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並か多い見込みです。これから出穂を迎えるほ場では、今後の気象状況に注意し、開花期の防除を行いましょ。また、ムギ類赤かび病に適用がある薬剤の多くは、ムギ類赤さび病とうどんこ病にも適用があります。今作、既に使用した薬剤は避け、FRACコードを参考に、作用機構が異なる薬剤を選定するよう工夫しましょ。

うどんこ病は、春が温暖で雨が多く、ムギが早くからよく繁茂した年に多く発生します。ムギの生育が旺盛なほ場では本病の発生に注意しましょ。また、昨年うどんこ病の発生が多かったほ場では、一次感染源となる越冬した病原菌量が多いと考えられますので、うどんこ病の発生状況を注視し、適期防除に努めましょ。

## 水稻の育苗期防除

普通期栽培のは種作業が始まります。次の1~7に注意して適正な種子消毒に努めましょ。

- 1 細菌性病害にも効果のあるテクリードCフロアブルなどを用いて、種子消毒を行いましょ。
- 2 種子消毒後の廃液は、適切に処理しましょ。浸漬処理後の廃液処理が困難な場合には、種子粉衣(湿粉衣法)や塗沫法などの消毒方法に切り替えましょ。また、エコホープD Jなどの微生物農薬や温湯種子消毒を利用する方法もあります。ただし、微生物農薬による種子消毒は、薬液の温度が10℃以下、30℃以上では効果が劣るので、処理温度に注意しましょ。
- 3 浸漬処理法の場合、薬液温度は極端な低温にならないようしましょ。また、処理濃度と時間を守りましょ。
- 4 温湯種子消毒の場合、適切な処理温度、時間(例:60℃、10分)を守りましょ。
- 5 種子消毒後は病原菌の汚染がないよう管理しましょ。
- 6 催芽温度は30~32℃を守りましょ。
- 7 高温での浸種や長時間催芽は細菌感染を助長するので避けましょ。

## イネ縞葉枯病対策

越冬世代のヒメトビウンカにおけるイネ縞葉枯ウイルスの保毒虫率は、昨年よりも高い状況でした。あきたこまちやコシヒカリなど本病に対して感受性の品種を移植栽培する場合は、生育初期の感染を防ぐため、育苗箱施薬等でヒメトビウンカを防除しましょ。

## 落葉果樹の病害虫

ナシ黒星病は前年の発生量が多く、本病原菌の越冬量は多くなっていると考えられます。4月上旬の時点では、雨が少なく花そう基部での発生量はやや少ない状況でしたが、今後降雨に伴い、発生量が増えるおそれがあります。また、ナシ赤星病の感染時期を迎えていますので、黒星病とともに防除しましょう。

モモを加害するクワシロカイガラムシの防除適期は、1齢幼虫の発生ピーク時です。本日発表の「モモのカイガラムシ類情報第1号」を参考に、適期に防除しましょう。

## 果樹カメムシ類の飛来はやや多い

果樹カメムシ（チャバネアオカメムシ）の飛来数は、越冬成虫量からおおよそ予測できます。今年のチャバネアオカメムシの越冬成虫量はやや多い状況です。越冬成虫量に関する詳細は、4月4日発表の「果樹カメムシ類情報第1号」を参照してください。

果樹カメムシは夜温が上昇すると、活動が活発になります。今後の園内への飛来状況に注意しましょう。

## ナシヒメシンクイの発生に注意！

フェロモントラップによるナシヒメシンクイ越冬世代の成虫誘殺ピークの時期は平年並で（前年よりやや遅い）、誘殺数は平年と比べてやや多い状況です。越冬世代成虫は展葉したモモの葉に産卵し、ふ化した幼虫が新梢に食入して芯折れを引き起こします。ナシヒメシンクイの防除適期は、卵から幼虫がふ化するタイミングです。今の時期の気温では、成虫誘殺ピークから2～3週間後が幼虫のふ化ピークと予想されます。適期を逃さないよう防除しましょう。

## 果菜類の病害虫

ナスでは、ハダニの発生がやや多い状況です。また、すすかび病の発生が目立つほ場があります。同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション防除を心がけましょう。

## ウイルス媒介虫を施設外に出さないようにしましょう！

トマト黄化葉巻病やトマト黄化病、キュウリ黄化えそ病の防除対策の基本は、ウイルス媒介虫を「施設内に入れない」、「施設内で増やさない」、「施設外に出さない」の3つです。収穫期間中はウイルス媒介虫であるタバココナジラミ（トマト黄化葉巻病、トマト黄化病）やオンシツコナジラミ（トマト黄化病）、ミナミキイロアザミウマ（キュウリ黄化えそ病）の防除を徹底しましょう。なお、次作の感染源を減らすため、収穫終了後は残さを持ち出す前に施設を密閉して、ウイルス媒介虫を死滅させましょう。

フェロモントラップなどの各種調査データは、HP「あいち病害虫情報」（アドレス：<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/index.html>）を参照してください。

問合せ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除室  
TEL 0561-62-0085 内線471 FAX 0561-63-7820